

都道府県名

宮 城 県

学校の概要（平成15年12月現在）

学校名	気仙沼市立松岩小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	3	3	3	3	2	1	17	26
児童数	73	82	83	92	84	69	1	484	

研究の概要

1. 研究主題

分かる喜び，できるうれしさ，学ぶ楽しさを味わえる学習指導
～算数科を中心とした指導方法・指導体制の工夫を通して～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

・全学年・算数科
児童の理解の状況に差が生じやすく，学習意欲を高めたい教科であるため。

(2) 年次ごとの計画

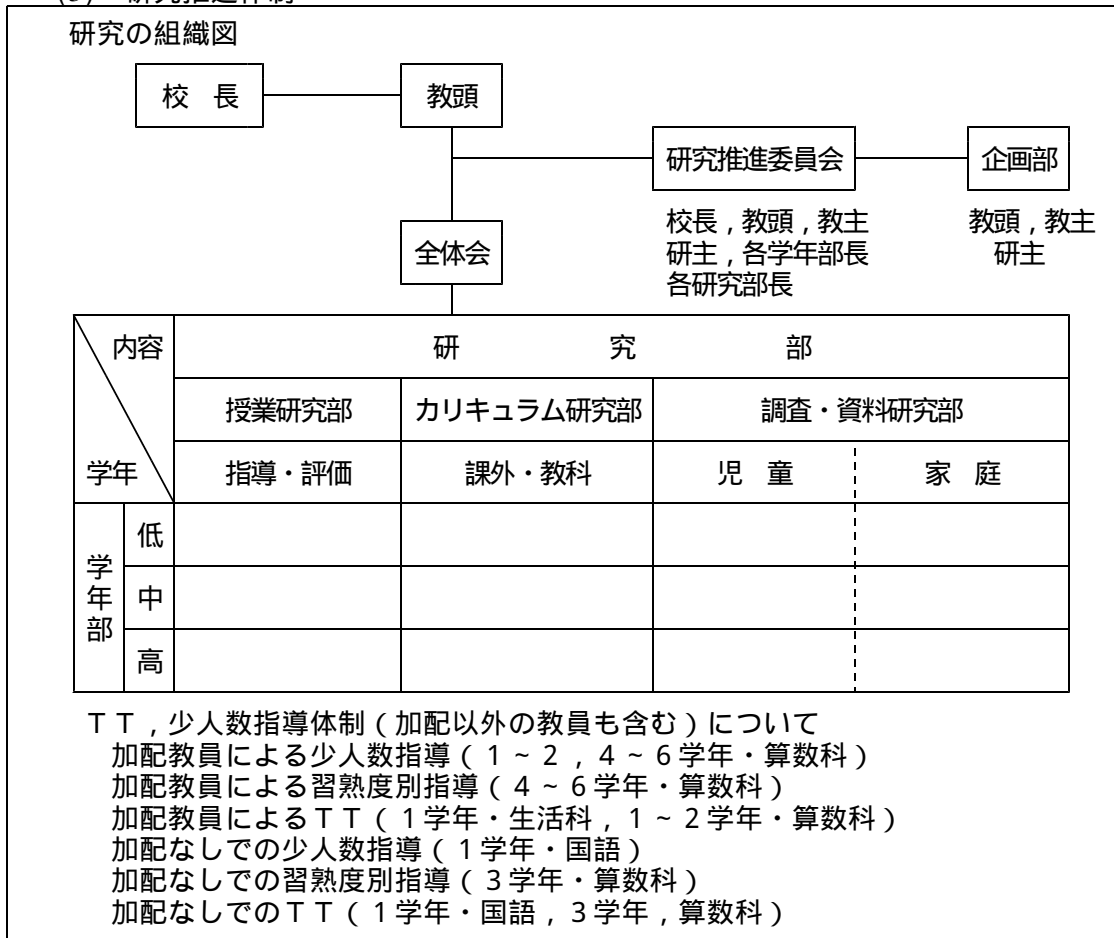
平成 15 年 度	<p>テーマ 分かる喜び，できるうれしさ，学ぶ楽しさを味わえる学習指導 ～算数科を中心とした指導方法・指導体制の工夫を通して～</p> <p>研究の見通し（視点） 分かる喜び，できるうれしさ，学ぶ楽しさを味わわせる学習指導はどうあ ればよいか，次の4視点について研究を進める。 「分かる授業」を目指した指導計画の工夫 個に応じた指導方法と指導体制の工夫 学習材の開発と工夫 評価の工夫</p> <p>研究の内容・方法 「分かる授業」を目指した指導計画の工夫 ・学習意欲を高める導入の工夫 ・指導目標・内容・系統をふまえた，基礎・基本の明確化 ・指導に生かす評価規準表の作成と活用 ・指導形態や評価の重点等を明示した単元指導計画の作成</p> <p>個に応じた指導方法と指導体制の工夫 ・児童の興味・関心や習熟度等に応じた指導の工夫 ・一人，ペア，グループ，教師と...等学習形態の工夫 ・繰り返し指導，課題選択学習等の導入 ・TT，少人数指導，習熟度別指導の効果的な導入 ・集団編成（分け方，人数）の工夫</p>
--------------------	--

- 学習材の開発と工夫
 - ・教材・教具の工夫
 - ・学習プリント，ヒントカードの工夫
 - ・算数コーナーなど学習環境の工夫
- 評価の工夫
 - ・学習の振り返りを記述させる等，ノートの使い方の工夫
 - ・自己評価カード（指導内容にかかわる観点，学習態度にかかわる観点等）の工夫
 - ・評価補助簿（教師側）の工夫

平成
16
年度

- テーマ
分かる喜び，できるうれしさ，学ぶ楽しさを味わえる学習指導
～主体的に学び，高まり合う算数科の授業を目指して～
- 研究の見通し（視点）
分かる喜び，できるうれしさ，学ぶ楽しさを味わわせる学習指導はどうあればよいか，次の4視点について研究を進める。
主体的に学び，高まり合う授業を目指した単元構想
個に応じた指導方法と指導体制の工夫
主体的に学ぶための学習材の開発と工夫
自他のよさを認め高める評価の工夫
- 研究の内容・方法
主体的に学び，高まり合う授業を目指した単元構想
 - ・算数的活動の効果的な導入
 - ・指導目標・内容・系統（関連と発展）をふまえた，基礎・基本の明確化
 - ・指導に生かす評価規準表の作成と活用
 - ・指導形態や評価の重点等を明示した単元指導計画の作成
- 個に応じた指導方法と指導体制の工夫
 - ・ペア，グループ，全体等かわりあいながら学ぶことができるような学習形態の重視
 - ・T T，少人数指導，児童の興味・関心や習熟度等に応じた指導の効果的な導入
 - ・繰り返し指導，課題選択学習等の導入
 - ・集団編成（分け方，人数）の工夫
- 主体的に学ぶための学習材の開発と工夫
 - ・教材・教具の開発と工夫
 - ・次の学習に使えるノート作り
 - ・学習プリント，ヒントカードの工夫
 - ・算数コーナーなど学習環境の工夫
- 自他のよさを認め高める評価の工夫
 - ・学習の振り返りを記述させる等，ノートの使い方の工夫
 - ・自己評価カード（学習の見通し，指導内容の理解度や学習への取り組みの状況等の把握，自分のよさに気付かせる朱書き等）の工夫
 - ・評価補助簿（教師側）の工夫
 - ・個人カルテ（特に配慮を要する児童）の作成

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

《成果》

- ・算数的活動を積極的に実践したり算数科の学習で得た知識や考え方を他教科の学習と結びつけたりしたことにより、実感を伴った理解が図られ、学習に意欲的に取り組む児童が多くなった。
- ・単元の指導計画の中に、「おおむね達成」の評価規準と「努力を要する児童」への具体的な支援策を明示したことは、児童のつまづきに応じた指導を適切に行うのに役だった。
- ・学習のたしかめの段階を習熟度別指導で実施したことは、児童一人一人の学習状況に応じて学習内容の定着を図るのに効果的だった。
- ・学習コースの選択を適切に行うためのチェックテストや思考を助けるヒントカード、学習の定着を図る学習材などを工夫したことは、分かる、できる喜びを味わわせることにつながった。
- ・学習内容や評価の重点を記載した自己評価カードは、児童に学習の見通しをもたせるのに効果的であり、また、教師間（担任と少人数指導担当）の打合せにも役立てることができた。

2. 今後の課題

《課題》

- ・児童一人一人が意欲的に学習に取り組むために、学級全体一斉指導, TT指

- 導，少人数指導，習熟度別指導を指導場面（小単元，指導過程の段階等）において，どのように使い分ければよいか。
- ・算数的活動を指導計画の中にどのように展開していけばよいか。
 - ・一斉指導や少人数指導において学び合い（かかわり合い）をどのように設定していけばよいか。

学力等把握のための学校としての取組

調査の目的

- ・算数科の観点別到達度を検査し，基礎的基本的な学習内容の習得状況を把握し，次年度の学習指導に生かす。

実施内容

- ・1～6学年児童を対象（特殊学級在籍児を除く）に算数科の「TK式小DR T観点別到達度学力検査」を実施する。

時期

- ・1月末に学力検査（田研出版DR T算数科）を実施する。
- ・単元毎のワークテストの成績と全国平均との比較（算数科のノート記述から数学的な考え方を，自己評価（感想等）から関心・意欲・態度を把握する。）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

指導主事学校訪問授業公開

- ・平成15年11月12日に，近隣小学校・中学校並びに地区内フロンティアスクールに連絡し，算数科（第3，5学年）授業を公開した。

学校公開

- ・近隣学校に研究成果を普及し，研究を深めるべく，気仙沼市内小・中学校を対象に，平成16年11月26日に，午後から本校にて学校公開研究会を開催する予定。

研究紀要リーフレット作成

- ・平成15年度，研究成果普及のため，研究概要をまとめたリーフレットを作成した。

ホームページの作成

- ・研究成果普及のためのHPを平成16年度作成予定。
- 研究便り「わかば」の発行，フリー参観で少人数指導，TT授業の公開
県教育研修センター教育データライブラリへの実践資料の提供

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 ■ 15年度からの新規校 □ 14年度からの継続校
- 【学校規模】 □ 6学級以下 □ 7～12学級
 ■ 13～18学級 □ 19～24学級
 □ 25学級以上
- 【指導体制】 ■ 少人数指導 ■ T・Tによる指導
 □ 一部教科担任制 □ その他
- 【研究教科】 □ 国語 □ 社会 ■ 算数 □ 理科
 □ 生活 □ 音楽 □ 図画工作 □ 家庭
 □ 体育 □ その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 ■ 有 □ 無